

平成 19 年 4 月 26 日  
筑波大学

## 朝永振一郎記念 第2回「科学の芽」賞の実施について

### 1. 趣旨

筑波大学では、本学の前身の東京教育大学の学長を務めるなど、本学にゆかりのあるノーベル物理学賞受賞者の朝永振一郎博士の功績を称え、それを後続の若い世代に伝えていくために、小・中・高校生を対象に自然や科学への関心と芽を育てることを目的としたコンクールを行い「科学の芽」賞を授与する。

### 2. 継続の経緯

平成 18 年度の朝永振一郎博士生誕 100 年記念事業の青少年プログラムの一環として実施した「科学の芽」賞には、初めての試みにもかかわらず、全国 24 都府県から 645 件、延べ 792 名の応募があった。また受賞者等から来年度以降の継続を要望する声が多くあったこと、さらに後援の新聞社をはじめ多数のマスコミから広く反響があったことなどから、この「科学の芽」賞の実施を通じて、青少年の学力低下や理科離れなどが叫ばれる中、我が国の人材育成面において、本学が一定の貢献ができると考えられることから、平成 19 年度以降も継続して実施することとした。

### 3. 第2回「科学の芽」賞の概要

#### (1) 主催

筑波大学

#### (2) 後援

毎日新聞社、時事通信社、日本教育新聞社、日本物理学会、日本物理教育学会、  
日本科学教育学会、日本理科教育学会、日本地質学会

#### (3) 応募資格

全国の小学校3学年～中学校・高等学校(高等専門学校3年次までを含む)、中等教育学校、特別支援学校の個人もしくは団体

「小学生部門」、「中学生部門」、「高校生部門」に分けて公募する。

#### (4) 募集作品

ふしぎだと思うこと  
これが科学の芽です  
よく観察してたしかめ  
そして考えること  
これが科学の茎です  
そうして最後になぞがとける  
これが科学の花です

(朝永振一郎)

この言葉のように、子どもたちが自然現象の不思議を発見し、観察・実験して考えたことをまとめたもの。完成された作品に限らず、子どもらしい素直な疑問・発見があるものが望ましい。応募作品は、レポート用紙 A 4 判 10 枚以内とする。

(※朝永先生の言葉は、京都市青少年科学センター所蔵の色紙に書かれたもの。)

**(5) 応募期間**

平成19年8月20日(月)～9月30日(日)〔消印有効〕

応募方法は筑波大学ホームページを参照のこと。

筑波大学ホームページ <http://www.tsukuba.ac.jp/>

**(6) 送付先**

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

筑波大学附属学校教育局 「科学の芽」賞実行委員会 宛

(注)応募作品は原則として返却しない。

**(7) 審査方法・審査結果発表**

筑波大学教員及び筑波大学附属学校教員が審査・選考を行う。

審査結果発表 平成19年11月下旬

筑波大学ホームページに掲載するとともに、受賞者本人に通知する。

なお、受賞作品は公開する。

**(8) 賞・記念品**

受賞者には学長から賞状と記念品を贈呈。(その他、奨励賞を予定。)

また、応募者全員に記念品を贈呈。

**(9) 表彰式・発表会**

平成19年12月22日(土) 筑波大学 大学会館 (茨城県つくば市)

**(10) 問い合わせ先**

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1

筑波大学附属学校教育局 総務課

電話 : 03-3942-6804

E-mail : kagakunome@sec.tsukuba.ac.jp

**(11) 取材に関する窓口**

筑波大学総務・企画部 広報課

電話 : 029-853-2040

E-mail : sk.pr@sec.tsukuba.ac.jp